

⑧気持ちをわかって働きかける (小学校中学年)

『どんな気持ちなのか考えて共感しよう』

1. 展開案

過程	学習活動	教師のはたらきかけ	留意すること
わかる	1. 本時のめあてを知 る。	○今日は、みんなが友だちと仲良くなるための学習をします。 ○嬉しいときや悲しいときに友だちと一緒に喜んだり悲しんだりして、自分の気持ちをわかってくれたら、とても嬉しくなるものです。友だちの気持ちを一緒に感じることを共感するといいます。共感することで、友だちともっと仲良くなることができます。	・「友達は喜びを2倍にし、悲しみを半分にする」などの言葉を紹介したり、実際の教師の体験を話したりし、気持ちをわかって一緒に喜んでもらうと嬉しさが増すことを押さえる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     あい手がどんな気もちなのかかんがえて きょうかんするれんしゅうをしよう                 </div>			
	2. モデリングを見て相手の気持ちをわかって働きかけるポイントを知る。 【モデリング】 I 2段跳びができて喜ぶ子に素っ気ない反応。 II 2段跳びができて喜ぶ子と一緒に喜ぶ。	○人との関わり方の学習をするときの約束を確認します。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     ・ひやかさない                      ・はずかしがらない                      ・よいところを見つける                 </div> ○今から先生が共感する役になって、2つのやり方でしてみます。どちらが仲よくなれそうか、共感する人の方を見て下さい。 ○どちらの方がよいと思いましたか。 ○2段跳びをする役だった人にどちらの関わりが嬉しかったか、仲良くなる感じがしたか聞いてみましょう。 ○共感するポイントはどんなことだと思いますか？ ○今日練習する共感するポイントは、2つあります。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     【共感するポイント】                      ①相手の様子をよく見る                      →表情、行動、言葉などから、喜んでいるのか、悲しいのか、相手の気持ちを考える                      ②「自分も+△△(気持ち)だよ」で共感する言葉を伝える                 </div>	・実際に行動できるようにするためには、約束を守り、しっかり練習することが大切であることを伝える。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">                     ※モデリングシナリオ参照                 </div> ・相手役は事前に頼む。 ・モデリングはポイントがわかりやすいように違いをはっきりさせて大きさに演じる。 ・共感する役に注目するようにさせる。 ・相手役をした役に感想を聞き、共感される側の気持ちを確認する。 ・モデリング②の場面を想起させ、具体的に説明する。
やってみる		○まずポイント1の練習です。 この写真を見てください。どんな気持ちでいるか分かりますか。 ○もっと相手の気持ちを知りたいときは、相手に話を聞いてみるのもいいですね。	【泣いている顔と笑っている顔の写真】 ・教師がいろいろな表情をして見せ、気持ちを考えさせてもよい。

	<p>3. 共感するポイントに気を付けながら練習①をする。</p> <p>4. 練習①を振り返り、話し合う。</p> <p>5. 共感するポイントに気を付けながら練習②をする。</p> <p>6. 練習②を振り返る。</p>	<p>○次にポイント2の練習です。 ワークシートにいろいろな友だちの場面が載っています。それぞれの場面でその人がどんな気持ちでいるか考えて、かける言葉を書いてください。</p> <p>○では、実際に自分ができそうな場面を選んで、練習します。4人グループになって「共感される役」「共感する役」「見守る役」（2人）に分かれてください。</p> <p>○「見守る役」は、「共感する役」をよく見て、できていたポイントやよかったところを教えてください。 一人終わるごとにグループでよかったところを教え合ひましょう。それが終わったら、役を交代します。</p> <p>○1回目の練習の振り返りをしましょう。相手の気持ちが分かって共感することができましたか。振り返りシートの1回目のところに丸を付けましょう。</p> <p>○みんなにおすすめの共感のポイントがあったら発表してください。</p> <p>○もう一度する前に、がんばりたい・もっと上手になりたいポイントに○をつけてください。</p> <p>○2回目をやってみましょう。がんばりたいポイントに気を付けて練習しましょう。</p> <p>○2回目の練習を振り返りましょう。</p>	<p><b>※ワークシート参照</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面から気持ちを想像し、「自分も+△△（気持ちを表す言葉）だよ」の話形に合わせて記入させる。</li> <li>「共感される役」は共感されてどう感じたかも相手に伝えさせる。</li> <li>練習が苦手な子どもには、そばに行き、何と云うのか教えたり、一緒に言ったりする。</li> </ul> <p><b>※ふりかえりシート参照</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉だけでなく一緒に笑ったり飛び跳ねたりするなど、相手と同じ表情や行動をしている子がいれば、称賛しプラスアルファとして紹介し、挑戦させる。</li> <li>その他のポイント <ul style="list-style-type: none"> <li>☆相手の話を聞く。</li> <li>☆自分の表情にも表す。</li> <li>など</li> </ul> </li> </ul> <p>・2つのポイントを意識させながら自己評価させる。</p>
ふりかえる	<p>7. 学習のまとめをする。</p>	<p>○今日学習したことを振り返りましょう。</p> <p>○相手の気持ちに共感できると、嬉しいことはもっと嬉しくなり、嫌なことはすこし和らぎます。</p> <p>○生活の中でどんな場面で使えそうですか。</p> <p>○今日からチャレンジ週間にします。チャレンジ1では、朝の会でワークシートの場面の中から、気持ちをわかって共感する練習をします。チャレンジ2では、生活の中で、共感するポイントを使ったことを記録してもらいます。</p> <p>みんながお互いの気持ちを分かり合って、もっと仲良くなるといいですね。</p>	<p>・特にがんばりが認められた子どもを賞賛する。</p> <p><b>※チャレンジシート参照</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1週間やってみて、帰りの会などで自分や友だちのがんばりを確認するようにする。</li> </ul>

## 2. モデリングシナリオ

### モデリングシナリオ

場面設定： 休み時間  
          体育の始まる前  
          2段跳びのの練習をしている。

役 割： A・・・2段跳びができて喜ぶ役  
          B・・・見ている役

#### モデリングⅠ 素っ気ない態度。

(相手を見ないで、ぼそつと言う。)

A 2段跳びは難しいなあ。

今度こそ！ ……！

よっしゃー！！できた！

B ふうん (チラ見)

よかったね。(ぼそつと)

(笑顔はない)

#### モデリングⅡ 相手の気持ちを考えて共感するポイントを使って共感する。

(相手をよく見て、共感する言葉を言う。)

A 2段跳びは難しいなあ。

今度こそ！ ……！

よっしゃー！！できた

B 2段跳びできたと？

すごーい！！よかったね。(笑顔) (拍手)

ぼくも嬉しいな！

### 3. 気持ちを分かって共感する場面のアレンジ例

「⑧気持ちをわかって働きかける」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働きかけにご利用ください。

- ・友だちとけんかして悲しそうな友だちへ
- ・友だちの中に入れない友だちへ
- ・友だちと仲直りして嬉しそうな友だちへ
- ・授業でうまくいなくて落ち込んでいる友だちへ
- ・授業で活躍をして嬉しそうな友だちへ
- ・行事でうまくいなくて悲しそうな友だちへ
- ・行事で活躍して嬉しそうな友だちへ
- ・テストで失敗して悲しそうな友だちへ
- ・テストでうまくいって嬉しそうな友だちへ
- ・作業が遅れて困っている友だちへ
- ・忘れ物をして困っている友だちへ
- ・泣いている友だちへ
- ・望みが叶って喜んでいる友だちへ
- ・いつもと違ってなんとなく元気がないと思う友だちへ
- ・いいことがあってにこにこしている友だちへ
- ・体調の悪そうな友だちへ
- ・心配事を抱えている友だちへ
- ・もうすぐ試合や発表会があると言っている友だちへ